

《原著論文》

# コミック読書経験の基底にある性格特性

## Experiences of Reading Comic Books and Basic Personality Traits

諸井 克英 板垣 美穂\*

(Katsuhide MOROI) (Miho ITAGAKI)

**Abstract** : The present study explored the relationship between reading comic books and basic personality traits (Big Five; Wada, 1996) in female undergraduates. The Experiences of Reading Comic Books Scale (developed by authors) and the Short Version for Big Five Scale (revised by authors) were administered to female undergraduates ( $N=331$ ). According to the cluster analyses and the principal component analyses, three clusters were extracted as follows: fusion of underworld and actual world, love stories for girls and adult women, and detective and adventure stories. The correlation analyses indicated that conscientiousness inhibited reading comic books which depicted fusion of underworld and actual world. The psychological effects of reading comic books were discussed.

**Key words** : comic books, Big Five, personality traits, conscientiousness

### I. 問題

漫画販売市場（金額規模）は（電通メディアイノベーションラボ（編），2018），'95年には過去最高の5,864億円に達したが，その後徐々に減少し '16年には2,963億円に落ち込んだ（'14年3,569億円，'15年3,268億円）。しかしながら，電子媒体による市場の拡大傾向を認めることができる（'14年887億円，'15年1,169億円，'16年1,491億円）。

漫画作品は，通常特定の漫画雑誌に掲載され，その後にとまとめて単行本（コミック）として販売される。読者の側からは雑誌でいち早く特定の漫画に触れ，一定期間後に販売されるコミックでその物語の展開を再確認することになる。少女向け，少年向け，青年向け，レディース向けなどの雑誌やコミックの分類が慣例的に用いられるが，読み手が個々の作品にどのような嗜好をもって接

するかに関する計量的研究はほとんど行われていない（家島，2007）。

例えば，'60年代に集英社が講談社や小学館に対抗して創刊した『週刊少年ジャンプ』誌は，読者層を青年期や青年期以降に拡大し今や売れ筋の漫画雑誌として頂点を極めている（'85年3・4号⇒400万部突破；'95年3・4号⇒653万部＜歴代最高部数（ギネス記録））。当初は「少年雑誌」として出発したが，読者層は明らかに青年期や青年期以降にまで拡大していく。雑誌創刊時に少年たちが「人生に立ち向かう」ことを意図していて「友情・努力・勝利」という3要素が設定された（角南，2014），『週刊少年ジャンプ』誌の成功はわが国の戦後の高度成長と関連しているのだ（三ツ谷，2009）。

わが国では，少年をターゲットにした漫画群と並列して少女を対象とした漫画群も確固として存在する。所謂「花の24年組」と呼ばれる3人の作家（萩尾望都，竹宮恵子，大島弓子）を核とした少女漫画というジャンルは'70年代に頂点を極めた。萩尾（2018）は，少女漫画の歴史を語る中で初頭に「手塚治虫」（'28-'89年）による

同志社女子大学生活科学部人間生活学科教授  
\*生活デザイン専攻2012年度修了

『リボンの騎士』（'53-'56年；少女クラブ誌掲載）の意義を強調した。読者である少女は、「もしも自分が男の子だったら……」という思いを抱きながら、「中世のヨーロッパの架空の国」では「男性しか王位を継ぐことができないため」「男として育てられる」「サファイア姫」の物語に夢中になる。言い換えれば、「手塚治虫」は女性性という軸を少女漫画に据え成功を取めたのだ。

須川（2013）は、次の6つの観点から、コミックやアニメに登場する「魔法少女」の受容を日本の戦後における女性性の変容と関連させながら論じた。①表相性（身体的特徴）、②表相性（属性・出自）、③機能する家族・長子、④経済的安定性、⑤魔法アイテム・呪文、⑥家庭性。

この少女漫画の流れは、「主に美少年同士での恋愛」いわゆる「ボーイズラブ〈BL〉」ジャンルを大きな支流として創出した。さらに「BL作品やBL妄想を好む人物」である「腐女子」という特徴的な女性読者群を生み出した（山岡，2016）。つまり、藤本（2007）が次のように要約したように、少女漫画の隆盛は社会的存在としての女性が内包する女性性に関わる歴史的葛藤と連動しているのである。①「最初は、現実社会のジェンダーの抑圧、性に対するさまざまな忌避から逃れるための装置として『少年愛』が生まれた」、②「いったん、その装置が生まれると、それは少女たちが『性を遊ぶ』ことを可能にし、受動から能動へと視点を転換させる可能性を開いた」。

心理学における漫画研究を概観した家島（2007）に従えば、次の3つの研究分野を認めることができる。①漫画を学習教材として子どもの教育への効果を探索、②漫画の読みや表現形式に焦点をあてた認知心理学的研究、③特定の漫画作品を思春期心性の考察に応用。最近では、漫画やアニメに関する心理学的研究の重要性が徐々に認識されているといえよう（高坂，2016）。

本研究では、個々の漫画作品を時代条件や社会状況と関連させ当該作品を意義づける作品分析よりも（諸井，2011）、個々の漫画作品の読書経験と個人的傾性との関連を計量的に明らかにする。個人的傾性とは当該個人が抱える態度や性格などを指すが、本研究では、性格を取り上げる。性格とは「各個人に特有の、ある程度持続的な、感情・意志・認知の面での傾向や性質」（新村（編），2018）と定義される。個々の作品の読書経験を支える個人的傾性としては性役割意識など様々な側面が仮定できるが、研究の第1段階として全般的な特徴との関連を探索するほうが適切と考えた。

この目的のために、女子大学生を対象として人気コミックの読書経験を調べ、性格測定の有効な道具として認められている Big Five 尺度（和田，1996；柏木，1997）を用いて測定された性格の基本的な特性との関連を検討した。

## II. 方 法

### 調査の対象と実施

同志社女子大学での社会心理学の講義を利用して、質問紙調査を実施した（2016年12月12日，15日）。回答にあたっては匿名性を保証し、質問紙実施後に調査目的と研究上の意義を簡潔に説明した。

青年期の範囲を逸脱している者（25歳以上）を除き、以下の尺度に完全回答した331名を分析対象とした（1年生164名，2年生65名，3年生94名，4年生8名）。平均年齢は19.60歳（ $SD = 1.06$ ，18～23歳）であった。

### 質問紙の構成

質問紙は、回答者の基本的属性に加え、①Big Five 尺度、②コミック読書経験尺度から構成されている。

#### (1) Big Five 尺度

回答者の基本的な性格特性を測定するために、和田（1996）が作成した Big Five 尺度を利用した。彼女は、性格が5つの基本的な特性から構成されるという考えに基づき、198個の特性用語を用い、男女大学生に自己評価を求めた。因子分析（主因子法，プロマックス回転）によって最終的に先行研究で認められている5因子を同定した（外向性，神経症傾向，開放性，誠実性，調和性）。各因子の構成項目を12個に設定し、合計60項目から成る Big Five 尺度を作成した。諸井・早川・板垣（2014）や諸井・坂元（2014）の研究で、この Big Five 尺度の5次元性が因子分析によって確認された。ただし、各次元に属する12項目が完全に再現された訳ではなかった。

そこで、評定負担軽減のために、これらの研究（諸井ら，2014；諸井・坂元，2014）の因子分析の結果に基づいて当該次元での因子負荷量の大きさを考慮して項目を選定した（各次元6項目）。回答者にこの6ヵ月間の自分自身の生活を振り返らせたうえで、最終的に選定した30項目それぞれが自分自身にあてはまる程度を4点尺度で回答させた（「4. かなりあてはまる」，「3. どちらかといえばあてはまる」，「2. どちらかといえばあてはまらない」，「1. ほとんどあてはまらない」）。

## (2) コミック読書経験尺度

過去1年間の範囲で回答者の特定コミックの読書経験を尋ねた。2015年度(2014年11月17日～2015年11月22日)のオリコンチャートにおけるコミック売り上げtop 200(オリコン・リサーチ, 2016)を対象とした(付表1)。このtop 200では同一のコミックも巻数ごとに集計されている。そこで、本研究では異なる巻数については同一のコミックと見なし(例えば、『ONE PIECE』(講談社)は、「76」, 「77」, 「78」, 「79」が1位から4位までを占める), 49種類のコミックから成るリストを作成した(1位から200位までのコミックをランダムに呈示しもとの順位の効果が生じないようにした), それぞれのコミックについて, ①誰かから借りて読んだことがあるか(レンタルコミックも含めて), ②自分で購入したことがあるかを尋ねた(「1. 読んだことがある」, 「0. 読んだことがない」)。

なお, 以上の2尺度それぞれでの評定順の効果を相殺するために, 尺度ごとに評定用紙を頁単位(Big Five尺度3頁; コミック読書経験尺度2頁)で無作為に並び替えた。

## Ⅲ. 結 果

## 各尺度の検討

## (1) Big Five 尺度

30項目について平均値の偏り( $1.5 < m < 3.5$ )と標準偏差値( $SD \geq .60$ )のチェックを行ったが, すべて適切であった。さらに, 30項目を対象に因子分析での初期共通性を確認したところ, すべて.30を超えていた。そこで全項目を対象に因子分析(最尤法, プロマックス回転( $k=3$ ))を行い, 先行研究(和田, 1996; 諸井ら, 2014; 諸井・坂元, 2014)に従ってプロマックス回転後の負荷量|.40|を基準に5因子解を求めた。その際, ①特定因子の負荷量が十分に大きく(絶対値 $\geq .40$ ), ②他因子への負荷が小さい(絶対値 $< .40$ )という基準に一致しない項目を除き再度分析を行い, 明確な負荷量パターンが得られるまで反復し最終の5因子解を得た(表1)。因子の構成項目を見ると尺度の仮定通りであったので, それぞれ「神経症傾向」, 「外向性」, 「非調和性」, 「非誠実性」, 「開放性」とした。なお, 「self\_bf\_b\_2 進歩的な」はもともと開放性に関わる項目と仮定されていたが, 負荷量が小さかったので除去した。この解での因子

表1 Big Five 尺度に関する因子分析(最尤法, プロマックス回転 $k=3$ )の結果—回転後の因子負荷量—

			I	II	III	IV	V				I	II	III	IV	V
〔神経症傾向〕 $(m=2.97, SD=0.61; r=.46-.75, \alpha=.84; L=.08, p=.001)$								〔非誠実性〕 $(m=2.72, SD=0.56; r=.43-.61, \alpha=.78; L=.09, p=.001)$							
self_bf_a_6	不安になりやすい	神	.89	.07	-.06	-.03	-.10	self_bf_a_8	ルーズな	誠	-.02	.02	.03	.71	.01
self_bf_a_2	悩みがちな	神	.73	.03	.10	-.02	-.04	self_bf_a_4	いい加減な	誠	.09	.01	.01	.70	-.03
self_bf_b_1	心配性である	神	.67	-.16	-.17	.16	-.08	self_bf_b_3	怠惰な	誠	.01	-.08	.16	.62	-.02
self_bf_b_10	弱気になる	神	.67	.02	.07	-.16	-.04	self_bf_b_7	成り行きまかせな	誠	-.08	.03	-.02	.59	.17
self_bf_c_2	傷つきやすい	神	.65	-.06	.07	.01	.07	self_bf_c_4	計画性のある	*誠	.12	.07	.07	-.52	.15
self_bf_b_6	気苦労の多い	神	.50	.06	.07	-.11	.16	self_bf_c_8	几帳面な	*誠	.10	-.10	-.01	-.49	.21
〔外向性〕 $(m=2.87, SD=0.58; r=.53-.69, \alpha=.84; L=.89, p=.001)$								〔開放性〕 $(m=2.45, SD=0.53; r=.38-.53, \alpha=.71; L=.11, p=.001)$							
self_bf_c_5	社交的な	外	.06	.81	-.01	.00	.09	self_bf_c_3	美的感覚の鋭い	開	.00	-.02	.01	-.14	.67
self_bf_b_5	外向的な	外	.06	.80	.03	.01	.06	self_bf_c_1	想像力に富んだ	開	-.04	-.04	-.01	.05	.58
self_bf_a_1	話し好きな	外	.15	.66	-.06	.11	-.02	self_bf_a_3	独創的な	開	.11	-.11	.00	-.04	.57
self_bf_a_10	無口な	*外	.05	-.64	.12	.01	.08	self_bf_a_7	多才な	開	-.08	.05	.02	-.10	.56
self_bf_b_9	暗い	*外	.21	-.61	-.03	.09	.08	self_bf_c_7	興味の広い	開	-.06	.17	-.03	.07	.47
self_bf_c_9	地味な	*外	.13	-.55	-.09	.03	.03	〔因子相関〕							
〔非調和性〕 $(m=2.23, SD=0.59; r=.49-.75, \alpha=.83; L=.09, p=.001)$								I *** -.25 .25 .01 .04							
								II *** -.10 -.16 .25							
								III *** .01 .06							
								IV *** -.04							
self_bf_b_4	怒りっぽい	調	.04	.09	.85	.04	.02	m: 平均値; SD: 標準偏差値							
self_bf_a_9	短気な	調	.13	.07	.74	.10	-.01	r: 当該項目得点と当該項目を除く合計得点とのピアソン相関値 ( $p<.001$ )							
self_bf_a_5	温和な	*調	.10	-.01	-.69	.14	.23	$\alpha$ : Cronbach の $\alpha$ 係数値							
self_bf_c_6	とげがある	調	-.04	-.09	.64	.09	.22	L: Kolomogorov-Smirnov の検定 〈Lilliefors の修正〉							
self_bf_c_10	反抗的な	調	.08	-.03	.59	.11	.17								
self_bf_b_8	寛大な	*調	.02	.17	-.56	.13	.26								

N=331

適合度検定:  $\chi^2(271)=663.95, p=.001$ 

\*逆転項目

\*\*和田(1996)による分類: 外向性, 神経症傾向, 開放性, 誠実性, 調和性

# コミック読書経験の基底にある性格特性

負荷量に基づき（絶対値＞.40）下位尺度項目を選別し、信頼性チェックを行った上で構成項目平均値を下位尺度得点とした（表1）。

反復測定分散分析によって下位尺度得点を比較すると（*Greenhouse-Geisser* の検定： $F_{(3.64, 1201.03)} = 91.69$ ,  $p = .001$ ）, 「神経症傾向≠外向性＞非誠実性＞開放性＞非調和性」の傾向が認められた（*Bonferroni* による多重比較； $p < .05$ ）。

## (2) コミック読書経験尺度

本研究では、49のコミックについて過去1年間の読書経験（「レンタル」「購入」）を尋ねたが、「レンタル」形式のほうが「購入」形式よりも一般的に読書経験率が比較的高かった（付表1；49項目中25項目が1%水準

で有意差）。そこで、両形式のいずれかあるいは両方で当該コミックを読書したことがある者を算出した（表2-a）。分析の歪みを避けるために、10%以上の回答者が読書経験のある18のコミックを以下の分析では対象とした。

まず、18のコミックの読書経験についてクラスター分析（*Ward* 法、ユークリッド平方距離）を実施した（図1）。3つのクラスターに分離していると解釈できた。次に18の変数を対象として主成分分析（プロマックス回転（ $k=3$ ））を試みた。初期固有値＞1.00の基準で3主成分が得られたが（表2-b）、クラスター分析による分類と一致していた。

クラスター分析と主成分分析の結果に基づき、構成項

表 2-a 当該コミックの読書経験—当該コミックを「レンタル」あるいは「購入」によって読んだことがあると回答した者の人数と割合\*—

	順位	N	%		順位	N	%
a_1 ONE PIECE	1	94	28.4	b_1 進撃の巨人	5	73	22.1
a_2 NARUTO—ナルト—	8	61	18.4	b_2 アオハライド	16	125	37.8
a_3 暗殺教室	10	72	21.8	b_3 君に届け	26	120	36.3
a_4 ハイキュー！！	13	68	20.5	b_4 黒子のバスケ	35	50	15.1
a_5 ワンパンマン	36	25	7.6	b_5 七つの大罪	22	22	6.6
a_6 青の祓魔師	43	24	7.3	b_6 3月のライオン	51	31	9.4
a_7 名探偵コナン	42	81	24.5	b_7 テラフォーマーズ	38	30	9.1
a_8 キングダム	52	22	6.6	b_8 アルスラーン戦記	44	8	2.4
a_9 新世紀エヴァンゲリオン	72	12	3.6	b_9 orange	54	112	33.8
a_10 食戟のソーマ	64	18	5.4	b_10 マギ	55	27	8.2
a_11 きょうは会社休みます。	63	65	19.6	b_11 ダンジョン飯	78	5	1.5
a_12 終わりのセラフ	86	21	6.3	b_12 宇宙兄弟	85	29	8.8
a_13 MIX	94	5	1.5	b_13 ジョジョリオン	96	14	4.2
a_14 監獄学園	121	22	6.6	b_14 俺物語！！	84	66	19.9
a_15 BLEACH—ブリーチ—	61	42	12.7	b_15 ニセコイ	92	29	8.8
a_16 ダイヤのA	135	19	5.7	b_16 魔法使いの嫁	143	9	2.7
a_17 銀魂—ぎんたま—	117	66	19.9	b_17 FAIRY TAIL	75	26	7.9
a_18 僕のヒーローアカデミア	105	21	6.3	b_18 ばらかもん	134	19	5.7
a_19 おおきく振りかぶって	139	16	4.8	b_19 ちはやふる	106	73	22.1
a_20 MAJOR 2nd	127	12	3.6	b_20 はんだくん	141	17	5.1
a_21 東京喰種トーキョーグール	9	61	18.4	b_21 ワールドトリガー	147	13	3.9
a_22 トリコ	171	17	5.1	b_22 黒執事	40	37	11.2
a_23 To LOVE る—とらぶる—ダークネス	181	10	3.0	b_23 GIANT KILLING	191	9	2.7
a_24 あひるの空	156	16	4.8	b_24 鬼灯の冷徹	150	16	4.8
a_25 オオカミ少女と黒王子	188	72	21.8				

全体  $N = 331$

\*「レンタル」あるいは「購入」の両方で読んだことがあると回答した者も含めてある。

順位：コミック売り上げ2015年度 top 200（オリコン・リサーチ, 2016）における順位

網掛け：分析に採用したコミック（＞10%）

表 2-b コミック読書経験に関する主成分分析（プロマックス回転  $k=3$ ）の結果一回転後の主成分負荷量－

		I	II	III
〔Ⅰ. 異界・現実界融合ストーリー〕 $m=0.18$ b $SD=0.26$ ; $r=.66-.47$ $SB=.85$				
接触 121	東京喰種トーキョーグール	.76	.07	-.07
接触 201	進撃の巨人	.72	.10	-.06
接触 117	銀魂－ぎんたま－	.69	-.06	.08
接触 115	BLEACH－ブリーチ－	.68	-.15	.29
接触 104	ハイキュー！！	.66	.06	-.18
接触 204	黒子のバスケ	.62	.00	.13
接触 222	黒執事	.61	-.02	.07
接触 103	暗殺教室	.54	.27	-.09
接触 102	NARUTO－ナルト－	.49	-.11	.39
〔Ⅱ. 女子・女性向け恋愛ストーリー〕 $m=0.27$ a $SD=0.32$ ; $r=.68-.54$ $SB=.83$				
接触 209	orange	.00	.76	-.02
接触 125	オオカミ少女と黒王子	.03	.75	-.10
接触 202	アオハライド	-.09	.75	.17
接触 111	きょうは会社休みます。	.02	.73	-.10
接触 214	俺物語！！	.14	.62	-.01
接触 203	君に届け	-.09	.61	.38
接触 219	ちはやふる	.12	.46	.30
〔Ⅲ. 推理・冒険ストーリー〕 $m=0.26$ b $SD=0.37$ ; $r=.37-.37$ $SB=.54$				
接触 107	名探偵コナン	-.09	.01	.88
接触 101	ONE PIECE	.23	.11	.49
〔主成分相関〕		***	.35 ***	.41 .34

$N=331$

初期主成分固有値 $>1.04$ ; 初期説明率 52.18%

$m$ : 平均値;  $SD$ : 標準偏差値;  $r$ : 当該項目と当該項目を除く合計得点とのピアソン相関値

$SB$ : Spearman-Brown の信頼性係数

平均値に付した英文字が異なる場合は互いに有意に異なることを示す (Bonferroni の法;  $p<.05$ )。

目の平均値を下位尺度得点とした。コミックの内容を勘案しながら、それぞれ「Ⅰ. 異界・現実界融合ストーリー」、「Ⅱ. 女子・女性向け恋愛ストーリー」、「Ⅲ. 推理・冒険ストーリー」と名づけた。反復測定分散分析によると (Greenhouse-Geisser の検定:  $F_{(1.92, 633.68)} = 16.68$ ,  $p = .001$ ), 「女子・女性向け恋愛ストーリー」≠Ⅲ. 推理・冒険ストーリー $>$ Ⅰ. 異界・現実界融合ストーリー」の有意な傾向が認められた。

### Big Five とコミック読書経験との関係

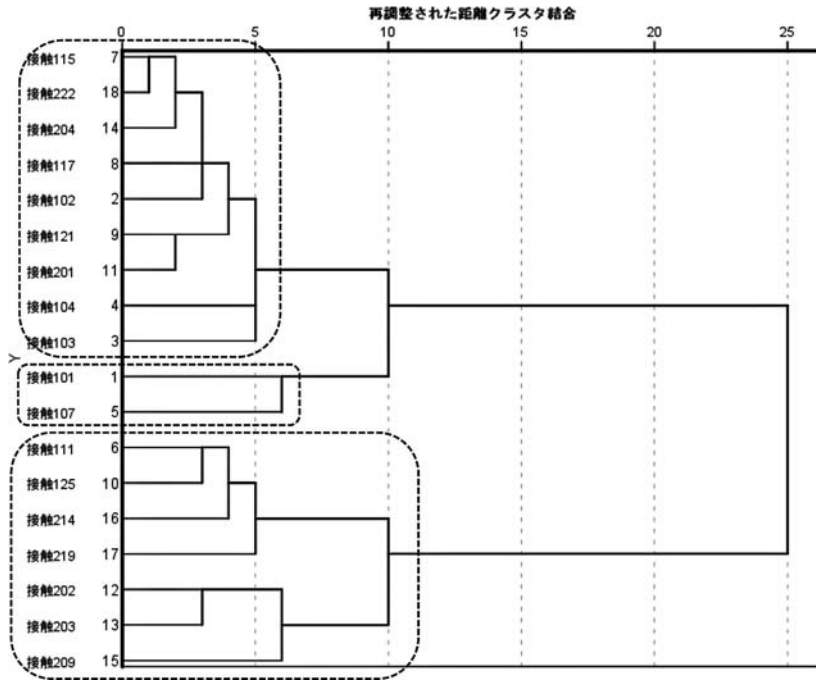
コミック読書経験の基底にある性格特性の働きを探るために、Big Five 得点とコミック読書経験との間のピアソン相関値を求めた (表3)。「非誠実性」と「Ⅰ. 異界・現実界融合ストーリー」との間に有意な正の相関が得られたのみであった。Big Five 得点を説明変数としコミック読書経験3得点それぞれを従属変数とする重回帰分析 (ステップワイズ法; 除去基準  $p>.10$ , 投入基

準  $p<.05$ ) を試みたが、「Ⅰ. 異界・現実界融合ストーリー」に対する「非誠実性」の有意な正の影響のみが認められた。

### 補足分析－読書経験3得点のオリコン順位別比較－

先述したように、本研究で呈示したコミックはオリコンチャートにおけるコミック売り上げ2015年度 top 200 (オリコン・リサーチ, 2016) に基づいている (表2-a)。そこでこの順位に従って、コミックを5群に分けて読書経験平均値を算出した (付表2: 39位以下, 40位～79位, 80位～119位, 120位～159位, 160位～200位)。反復測定分散分析によると、「39位以下 $>$ 40位～79位 $\approx$ 80位～119位 $>$ 120位～159位 $>$ 160位～200位」という有意差があった。本研究では女子大学生を対象に読書経験 (購入とレンタル) を尋ねたが、コミック購入に関する全国動向とほぼ対応していたといえよう。

# コミック読書経験の基底にある性格特性



〈変数名は、表 2-a を参照〉

図 1 コミック読書経験に関するクラスター分析—Ward 法, ユークリッド平方距離—(N=331)

表 3 性格特性とコミック読書経験との関係—ピアソン相関値—

[性格特性]	[コミック読書経験]		
	I. 異界・現実界融合ストーリー	II. 女子・女性向け恋愛ストーリー	III. 推理・冒険ストーリー
神経症傾向	-.02	-.08	-.02
外向性	.03	.09	.07
非調和性	.04	.09	.08
非誠実性	.19 $p = .001$	.09	.10
開放性	.09	-.04	.02

N = 331

## IV. 考 察

本研究の主目的は、コミック読書経験の基底にある心理学的機制を解明することであった。そのために、女子大学生を対象として人気コミックの読書経験を調べ、Big Five 尺度 (和田, 1996) によって測定された性格の基本的な特性との関連を検討した。

オリコンチャートにおけるコミック売り上げ top 200

(オリコン・リサーチ, 2016) に基づき、本研究独自にコミック読書経験尺度を作成し、女子大学生の過去 1 年間のコミック読書経験をレンタル形式と購入形式の 2 側面から測定した。2 形式での読書経験の比較をすると (付表 1), 49 項目中 25 項目で誰かから借りたりレンタルする形のほうが有意に好まれていた。

ところで、諸井 (2015) は、音楽接触の動向を分析し、CD 購入の衰退と平行して①レンタル CD 市場の活性化、②音楽配信サイトを介したダウンロードの増加、

さらには③コンサートというパフォーマンスの直接的な受容形式の隆盛から、音楽媒体を「モノ」としてよりも「情報」としての所有する方向への変容していることを指摘した。本研究での結果もこの変容と対応しているといえよう。しかし、本研究では近年スマートフォンの普及と連動して盛んになっているダウンロードによるコミック視聴などは設問に含めていない。先述した電子媒体の市場拡大を踏まえ（電通メディアイノベーションラボ（編），2018），コミック読書経験の変容についてさらに緻密に検討する必要があるだろう。

本研究では2つの形式の読書経験を併せクラスタ分析と主成分分析を実施したところ、両分析でコミック読書経験の3つの側面が得られた。1つめの側面は「Ⅰ. 異界・現実界融合ストーリー」と名づけた。これに含まれるコミックはほとんどが「現実界」に「異界」の存在が侵入することによりストーリーが展開される。「ハイキュー!!」や「黒子のバスケ」は現実的にはありえない存在を設定している点で異界との融合という概念と一致していると考えた。2つめの「Ⅱ. 女子・女性向け恋愛ストーリー」は、大半が少女向け雑誌に由来するが、「きょうは会社休みます」と「ちはやふる」は成人女性向け雑誌に掲載されている。最後の「Ⅲ. 推理・冒険ストーリー」は、「週刊少年サンデー」や「週刊少年ジャンプ」に掲載された'90年代のコミック市場を支えた人気アニメであるが、男女の区別なく支持されている。しかし、以上の3側面は、あくまでも平均年齢19.60歳（18～23歳）の女子大学生を対象とした調査結果に基づき抽出されたことに留意すべきである。例えば、「Ⅱ. 女子・女性向け恋愛ストーリー」の側面は男子サンプルだと得られないかもしれない。

また、本研究で作成したコミックリストは、top 200（オリコン・リサーチ，2016）に基づいているが、例えば「主に美少年同士での恋愛」を扱った作品（例えば、『クリムゾン・スペル』（徳間書店））いわゆる「ボーイズラブ」ジャンルに属するコミックは含まれていない。山岡（2016）は、「腐女子とはBL作品やBL妄想を好む人物」と定義しそのような好みの基底にある心理学的機製の解明を試みた。本研究のように一般的データに基づいてコミックリストを作成するのではなく、予め特定のジャンルに焦点をあてることも必要といえよう。

本研究では、Big Five 尺度を用いて基本的な性格特性とコミック読書経験との関連を調べたが、「非誠実性」と「異界・現実界融合ストーリー」との間に有意な正の相関が認められた。つまり、目標に向かって自らを律し

ながら真面目に努力する傾向に欠ける者は、「現実界」に限定的に没入するよりも「異界」を想定した非現実的なストーリー展開のコミックへの嗜好が強いのである。しかしながら、全体として見るとコミック読書経験と基本的な性格特性との関連は希薄であったといえ、今後は、①top 200 にこだわらず呈示コミックのジャンルを拡大すること、②電子媒体での視聴も含めることにより、さらに性格特性との関連を探るべきであろう。コミックではないが、例えば、高坂（2017）は次のような興味深い研究を試みている。「電子書籍アワード 2014 ライトノベルランキング」（ダ・ヴィンチ誌）におけるtop 10 の作品の男女登場人物に関する「人物紹介文」を作成し、男女大学生に呈示人物の性格評定（Big Five）を求めた。クラスタ分析により次の4つのクラスターが抽出された。自由奔放型、安定適応型、不安内向型、不安外交型。

本研究では、当該コミックの読書経験を測定し、コミックに対する一般的態度は捨象している。例えば、脇田・村田・山中・伊藤・谷川（2013）は、漫画に対するイメージと接触の仕方という2つの側面を測定する尺度を作成し、京都国際ミュージアム入館者に実施した。因子分析によって「マンガイメージ尺度」では3因子（ソフトパワー、魅力的なメディア、学習効果）、「マンガ読者行動尺度」では2因子（快楽志向、マンガ資本志向）が抽出された。今後は、コミックに対して形成されている一般的態度の構造を把握することも必要であろう。

以上に述べた問題を踏まえながら、コミック読書経験と基本的な性格特性との関連を今後も引き続き検討するべきである。

#### 【付記】

- (1) 本研究は、第1著者が賜った科学研究費「基盤研究（C）〈16K 04274〉：若者によるサブカルチャーの受容－作品分析と質問紙調査－（'16～'18年度）」に基づき行われた。第2著者の板垣美穂は、①コミック読書経験リスト作成のためのオリコンチャート事前整理と②回答データの整理作業に従事した。
- (2) データの統計的解析にあたって、IBM SPSS Statistics version 25.00 for Windows を利用した。

## V. 引用文献

- 電通メディアイノベーションラボ（編） 2018 『情報メディア白書 2018』ダイヤモンド社
- 藤本由香里 2007 少年愛／やおい・BL－2007年現在の視点から－『ユリイカ臨時増刊号〈2007年12

- 月〉BL スタディーズ』青土社 36-47 頁
- 家島明彦 2007 心理学におけるマンガに関する研究の概観と展望 京都大学大学院教育学研究科紀要, **53**, 166-180.
- 柏木繁男 1997 『性格の評価と表現－性格 5 因子論からのアプローチ－』有斐閣
- 高坂康雅 2017 ライトノベルにおける男性主要登場人物と女性主要登場人物のパーソナリティーの組み合わせの検討 和光大学現代人間学部紀要, **10**, 195-204.
- 高坂康雅 2016 青年を取り巻くマンガ・アニメーマンガ・アニメに対する心理学的研究の展望－〈研究委員会企画第 12 回 (2015 年) ワークショップ記録〉青年心理学研究, **27**, 187-191.
- 三ツ谷 誠 2009 『「少年ジャンプ」資本主義』NTT 出版
- 諸井克英 2011 「涼宮ハルヒの憂鬱」が描く青年の妄想の世界－入門篇－ 生活科学 (同志社女子大学), **45**, 64-68.
- 諸井克英 2015 『ことばの想い－音楽社会心理学への誘い－』ナカニシヤ出版
- 諸井克英・足立佑夏・福田紘子 2015 テーマパークに対する意識と行動 (Ⅱ)－東京ディズニーランドが喚起する非現実感の心理学的働き－ 学術研究年報 (同志社女子大学), **66**, 127-138.
- 諸井克英・早川沙耶・板垣美穂 2014 女子大学生における超常現象観の基本的構造 生活科学 (同志社女子大学), **48**, 13-24.
- 諸井克英・坂元宏江 2014 女子大学生における職業価値観－性格特性との関連－ 生活科学 (同志社女子大学), **48**, 25-32.
- 萩尾望都 2018 『私の少女マンガ講義』新潮社
- オリコン・リサーチ 2016 『ORICON エンタメ・マーケット白書 2015』オリコン・エンタテインメント
- 新村 出 (編) 2018 『広辞苑第七版』岩波書店
- 須川亜紀子 2013 『少女と魔法－ガールヒーローはいかに受容されたのか－』NTT 出版
- 角南 攻 2014 『メタクソ編集王－「少年ジャンプ」と名づけた男－』竹書房
- 和田さゆり 1996 性格特性用語を用いた Big Five 尺度の作成 心理学研究, **67**(1), 61-67.
- 脇田貴文・村田麻里子・山中千恵・伊藤 遊・谷川竜一 2013 マンガ読書行動尺度・マンガイメージ尺度の開発の試み 関西大学社会学部紀要, **44**(2), 75-89.
- 山岡重行 2016 『腐女子の心理学－彼女たちはなぜ BL (男性同性愛) を好むのか?－』福村出版  
(2018 年 9 月 26 日受理)  
(2018 年 12 月 6 日採択)

付表1 当該のコミックに対する読書経験—当該コミックを「レンタル」あるいは「購入」によって読んだことがあると回答した者の人数と割合—

[illegible]全体  $N = 331$ 

項目番号：表 2-a と同じ。

網掛け: Cochran の  $Q$  検定により「読んだことがある」者が有意に多いことを示す ( $p < .01$ )。

付表2 コミックスの読書経験—オリコン順位別—：反復測定分散分析—

	平均值 (a)	標準偏差值
order 1_39	0.20 a	0.23
order 40_79	0.11 b	0.14
order 80_119	0.11 b	0.16
order 120_159	0.05 d	0.10
order 160	0.08 c	0.15

[反復測定分散分析]  $F_{(3.08, 1015.18)} = 101.66^*, p = .001$

$$N = 331$$

\*Greenhouse-Geisser の検定

(a) *Bonferroni* の検定：異なる英文字は互いに有意に異なることを示す ( $p < .05$ )。